



地域連合

よこはま

2019年 7月1日

第 217 号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市技能文化会館 402 号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也
編集責任者 高橋 直樹・柴田 康光



第 90 回かながわ中央メーデー

「第90回かながわ中央メーデー」が4月27日(土)、横浜みなとみらい21(MM21)地区・臨港パークで開催され、連合の組合員をはじめ、関係団体など諸団体から約6,700人(主催者発表)が参加した。

メーデー式典議長には、今年も高橋卓也横浜地域連合議長が選出され、進行役を務めた。

主催者あいさつの中で柏木教一連合神奈川会長は、「メーデーは今でいうデーセントワークを求めてきた歴史がある。働き方改革の実情を点検し、良い部分は波及させていく。我が国は民主主義の様々な危機のど真ん中にある。私たち働く者・生活者はそれを看過するわけにはいかない。すべての働く者の連帯で、『クラシノンコアゲ』と、それを通じて未来への責任を果たさなければならぬ」と訴えた。

来賓として、黒岩祐治神奈川県知事、林文字横浜市長、各政党代表などが出席した。

宣言では、「働き方改革関連法については、長時間労働の是正や同一価値労働同一賃金の確実な実現など、真に全ての働く者の立場に立った改革とするよう、全力で取り組みを続ける。賃金の『底上げ・底支え』『格差是正』に向けた取り組みを進展させるとともに、子ども子育て、年金、医療・介護の問題、社会的セーフティーネットを含んだ、安心・安全の社会保障制度



フードドライブの様子

横浜地域連合は、横浜労福協と共催でブースを開設した。プロバスケットボール

「第90回かながわ中央メーデー」開催 すべての働く仲間の連帯で、格差をなくし、平和を守り、 笑顔あふれる未来をつくらう!

「第90回かながわ中央メーデー」が4月27日(土)、横浜みなとみらい21(MM21)地区・臨港パークで開催され、連合の組合員をはじめ、関係団体など諸団体から約6,700人(主催者発表)が参加した。

を確立させるため、私たちも職場の声を結集し、その実現に歩みを進めなければならぬ。」と呼びかけた。

今年度もかながわ勤労者ボランティアネットワーク(Vネット)の「フードドライブ」の取り組みが行われた。昨年の181点、総重量41.02kgを大きく上回る334点、総重量77.18kgの食品が寄せられた。これらの食品はフードバンクかながわを通して、県内の福祉団体に届けられる。「タオル1本運動」も行われ、4,421本のタオルが集まった。「フードドライブ」

チーム「横浜ビー・コルセアーズ」の応援を目的としたフリースローゲーム、サッカーボウリングゲームや毎年恒例となった「ボデージュエリー」

を行い、多くの参加者で賑わった。なおゲーム参加料

は今年も復興支援に向けた基金に寄付される。さらに今年子ども対象のイベントとして、会場内での「スタンプラリー」を実施し、横浜地域連合のブースはスタンプラリーの景品引換所も担った。たくさん子どもたちが会場内をまわりスタンプを集め、景品のお菓子を受け取りにきて、大好評な企画となった。

毎年恒例の「第27回ボウリング大会」開催!



始球式の様子

「第27回ボウリング大会」は、高橋議長の主催者挨拶、来賓の中央労働金庫横浜支店の永野支店長のご挨拶に続き、小田副議長、水野支店長、横浜ビー・コルセアーズの上田代表、昨年優勝の浜教組の雨宮端さんの4名の始球式で開会した。ゲームは2ゲームトータルの個人戦。優勝を目指



ボウリングの様子

して大いに盛り上がった。ボウリングの後には会場を7階「ベノア」に移し、表彰式・懇親会を行った。中央労働金庫、全労済神奈川県本部、横浜ビー・コルセアーズ、ハマボール、ベノア、横浜労福協などから賞品を提供していただいた。成績発表は小田副議長、雨宮端さんのマイクで進められ、歓声あり笑いありの中、成績を発表するとともに賞品が渡され、和やかな雰囲気の中で終了となった。



懇親会・表彰式の様子

議長賞の労金・丸山さん(中央)と高橋議長(右)、横浜ビー・コルセアーズ上田代表(左)賞品は横浜ビー・コルセアーズグッズ

順位	氏名	出身組織	スコア
優勝	石渡 正人	北部地区連合/自治労横浜環境事業支部	370
準優勝	雨宮 端	神教協/浜教組	351
3位	蛇子 友之	自動車総連/日産労組横浜支部	337
4位	井手 寛介	神教協/浜教組	317
//	青木 邦彦	東部地区連合/JVCケンウッド労組	317

災害発生時の在宅避難に備えて、 食料品や日用品を少し多めに 備えておきましょう!

日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、災害時に自宅で当面生活することが可能となります。常に最小限備えるべき品目・量を保ちながら、多めに備えているものを日常の中で消費していくため、特別な準備は必要ありません。このような考え方を「ローリングストック」といいます。

ローリングストックのイメージ



主な備蓄品例 自分の家庭にあったものを備えましょう!

食品	<input type="checkbox"/> 水(飲料用、調理用等) <input type="checkbox"/> 無洗米、レトルトご飯、乾麺 <input type="checkbox"/> 缶詰(肉、魚、野菜、果物等) <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 野菜ジュース <input type="checkbox"/> ペットボトル入り清涼飲料 <input type="checkbox"/> チーズ、かまぼこ等 <input type="checkbox"/> 菓子類 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品、健康飲料粉末 <input type="checkbox"/> 調味料
生活用品	<input type="checkbox"/> 大小ビニール袋 <input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 包装ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> メガネ、使い捨てコンタクトレンズ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 乾電池
女性	<input type="checkbox"/> 生理用品
乳幼児	<input type="checkbox"/> 粉ミルク(アレルギー対応等) <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 離乳食(アレルギー対応等) <input type="checkbox"/> おむつ
高齢者	<input type="checkbox"/> おかゆ等やむらひかい食品 <input type="checkbox"/> 入れ歯洗浄剤 <input type="checkbox"/> 補聴器用電池

各ご家庭の家族構成や生活様式をふまえた品目を少し多めに備えましょう。詳しい備蓄品目等の参考例は防災首都圏ネット(九都市圏HP)をご覧ください。
<http://www.9tokenshi-bousai.jp/>

今年も昨年と同じく街頭活動形式で、災害発生時の在宅避難に備えて、食料品や日用品を備蓄しておくことを呼びかけるチラシをティッシュとともに配布し、災害に対する備えを呼びかけた。昨年は、梅雨の時期から秋にかけて、豪雨や台



主催者挨拶をする高橋議長

6月8日(土)、横浜地域連合はJR桜木町駅前広場において「2019防災・減災のつどい」を開催した。高橋議長はじめ五役、立憲民主党と国民民主党の各級議員など27人が参加した。

2019防災・減災のつどいを開催 災害にそなえて備蓄を

風、地震による被害が相次いだ。災害に対する意識を高め、備えを十分に行うてほしいとの思いから、今年も梅雨入り直後のこの時期の開催とした。1500個のチラシ入りのティッシュを五役

と各級議員で配布した。ティッシュの配布にあわせて、高橋議長と組織内議員がマイクをもち、災害に備えての備蓄の必要性を訴えた。いっしょに起こるかわからないのが自然災害。今後横浜地域連合では防災・減災のつどいを通じて、防災・減災に対する意識づけ、備えの大切さを市民の皆様へ訴えていく活動を継続していきたいと考えている。



チラシ入りティッシュを配布

政策委員会による施設見学会を開催

「フードバンクかながわ」「金沢水再生センター」を訪問



フードバンクかながわの説明を受ける。さまざまな企業や個人からの提供を受けているとのこと。あったが、フードバンク活動を継続し、より拡充

はじめに「フードバンクかながわ」(金沢区富岡東)を訪問した。設立から1年が経過したフードバンクかながわの取り組みや現状について、フードバンクかながわの藤田事務局長と神奈川県労協の市川事務局長より説明を受けた。また、食品ロスや貧困の実態についても説明をいただいた。その後、食品の仕分け作業や米を1.5kgずつ小分けして袋に詰める作業を体験した。



米を小分けにする作業



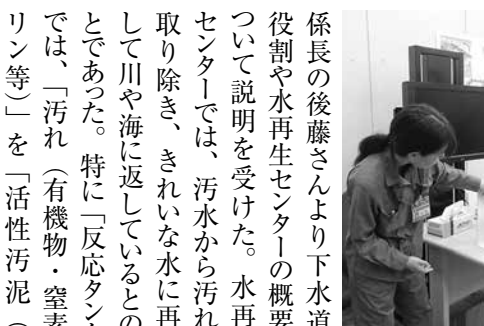
食品の仕分け作業



下水道の説明を受ける

「もったいない」を「分かち合」していくためにも、フードバンクかながわの設立目的である「金沢水再生センター」では担当

次に「金沢水再生センター」(金沢区幸浦)を見学した。金沢水再生センターでは担当係長の後藤さんより下水道の役割や水再生センターの概要について説明を受けた。水再生センターでは、汚水から汚れを取り除き、きれいな水に再生して川や海に返しているとのことであった。特に「反応タンク」では、「汚れ(有機物・窒素・リン等)」を「活性汚泥(微生物のかたまり)」とともに、空気の吹込みや機械により攪拌し、「汚れ」が「活性汚泥」のエサとなり取り除かれていくとのことであった。微生物の力を借りて汚れを除去しているのは驚きであった。その後、実際に水再生センターの施設を見学した。大雨の中、屋外での見学であったため、じっくりと説明を受けながらとはいかず、かけ足での見学となった。



水を再生する過程の説明

コラム「るーぷ」

「バスケット命!」と高校卒業時の寄せ書きに記したことを思い出しました。今もシニアバスケットを老体に鞭をうってプレイしています。10年間ミニバスのコーチも経験させてもらい、プレイする立場・指導する立場の経験を経てわかったことは「人生は経験」ということです。組合活動を通して、いろいろな人に出会い、いろいろな経験を、後輩に指導できると思います。最後に私の座右の銘は「感謝、謙虚、素直、作り笑顔」です。



横浜地域連合 小田副議長